

九州で唯一 小川さんが入賞



7月の河川愛護月間の一環として実施された「河川愛護月間の絵手紙コンテスト」で、小川真由さん(有家中1年)が応募総数993点の中から、栄えある優秀賞(国土交通事務次官賞)を受賞し、3月22日に表彰の伝達式が市役所で行われました。

作品は「夏の川 魚と一緒に大ジャンプ」と題したもので、夏休みに鮎帰りの滝(有家町)で川遊びをしたときのことを描いたものです。

受賞、おめでとうございました。

森の楽校が開校



3月20日、塔ノ坂集落(西有家町)で、「とんさか森の楽校 種まき会」を開催しました。

参加者は、自然豊かな環境の中で、耕作放棄地への野菜や花の種まき、一般社団法人TAO塾代表の波多野 毅さんのお話し会や音楽の生演奏、食事会などを楽しみました。

新防災拠点が開署



南島原消防署布津分署の新庁舎が完成し、開署式が行われました。

今後、深江・布津地区の新しい防災拠点として活用されます。



ITのメッカ”南島原“を目指して

株式会社セラク(本社:東京都新宿区)が、加津佐町の「赤い屋根のふるさと交流館(旧山口小学校)」へIT農業の研究開発拠点を設置することになりました。

3月23日、株式会社セラクと本市との間で立地協定調印式を行いました。島原市出身の宮崎龍己代表取締役社長は「地域のみなさんの小学校への愛着を感じるので、大切にしたい。夢は膨らんでいる」と話しました。

同社は交流館をIT農業(みどりクラウド)の研究開発およびサポート拠点の一つとします。



山口小学校での鬼火たきの様子

また、販売支援などIT農業を生かした地域活性化を目指す取り組みや、本市に滞在しながら本社などの業務を行う「ふるさとオフィス」としての活用を予定しています。



200人超がオルレを楽しむ

3月13日、九州オルレ「南島原コース」スプリングフェアを開催しました。

100人の定員に対し200人を超える応募があり、遠くは福岡県からの参加もあるなど、九州オルレ「南島原コース」への関心の高さが伺えました。

コース上では、地域の皆さんの協力でカレーライスやみかん、とら巻、そうめん、うどん、そうめんいなりなどが振る舞われ、参加者たちはお・も・て・な・しを楽しみながら歩いていました。



心を一つに 西有家小学校が開校

西有家ブロック小学校統合により、西有家小、龍石小、慈恩寺小、長野小、見岳小が統合し、4月1日から西有家小学校がスタートしました。

4月6日に行われた開校式では、児童を代表して佐藤真悠子さん(6年)が「みんなで協力して新しい歴史をつくっていきましょう 心を一つに 西有家小学校」と誓いの言葉を述べました。統合により児童数は394人となり、市内の小学校の中で最も多くなります。



凛々しい姿で入退団

3月12日、南島原消防署で有家小学校区少年消防クラブの入退団式を行い、4人のクラブ員が4年間の活動を終えました。4人は任期中、長崎県消防学校での消防訓練や夜間の防火パレードなどいろいろな訓練を経験し、退団式ではとても凛々しい表情を見せていました。今年、有家小学校区少年消防クラブには新たに2人が加わり、総勢17人で地域の安全を守るため防火啓発活動を実施していきます。

Focus in 南島原 まちの話題



サクラサク 桜まつり

4月3日、南島原市桜まつりが開催されました。

口之津会場ではスイーツやお茶が並び、ステージでは保育園児による蛇踊りや太鼓の演奏があり、来場者は春の訪れを楽しんでいるようでした。

特に7月7日の「そうめんの日」にちなんで77秒の間に何杯のそうめんを食べるか競う「わんこそうめん大会世界一決定戦」では、参加者が口いっぱいそうめんを頬張るのを見て、会場は笑いに包まれていました。



南島原の道はローマに通ず

3月20日から28日まで、本市から平成遣欧少年使節団として中学生4人を派遣しました。

これは、およそ400年前、織田信長が活躍していた時代、南島原のセナリヨで学んでヨーロッパに渡った天正遣欧少年使節にならい、4年前から本市が取り組んでいるものです。派遣の様子は6月号でお知らせします。